

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスぽーと		
○保護者評価実施期間	令和6年 2月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年 2月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 2月 1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供が安心感を持って通所ができる	曜日での利用をお願いしていることで、次回通所時に知らない児童生徒が多い場面がないことが安心感をもっていただけていると考えます。	●児童生徒一人ひとりの特性やニーズに合わせた対応を心掛ける。 ●支援技術や障害に関する研修を実施し、支援の室を向上させる。
2	子供が通所を楽しみにしてくれる	集団活動や児童生徒の特性に合わせた個別活動を用意しつつ職員も一緒に楽しみながら個々の課題に向き合える環境設定のため楽しみにいただけていると考えます。	●季節に合わせたイベントをさらに職員主導ではなく児童生徒と一緒に準備を行う。 ●成功体験を目で見え実感ができるようなプログラムの工夫をする。
3	活動プログラムが固定化されず日々の利用児童に合わせた内容での活動プログラムが導入されている。	「バランス感覚」「全身運動」「ボール」「ジャンプ」「サーキット」と5項目を用意し各曜日毎週順序を変えつつ活動のプログラムを設定しています。項目の内容についても日々利用される利用者に合わせてプログラム設定を取り組んでいるところです。	今後も現在の取り組みについて継続しつつ取り組みながら活動内容について考査しつつ利用者に適正なプログラムを設定していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信力の弱さ	情報発信においてHPでの更新若しくは書面や帰宅送迎時での口頭にての周知になるためリアルタイム若しくは迅速な対応としてできることは電話対応のみとなる。	SNSを利用しつつ、保護者への活用の周知をおこないつつ情報発信がSNSのみにならないよう本来の取り組みを残しながら情報発信を促進していく。
2	非常時の対応力	事業所所在がビルの4階ということもあり非常災害時などについては非常階段から降りる必要性があり、避難場所まで徒歩10分ほどとなるため迅速な避難ができるよう訓練や心構えが必要と考える。	年2回の避難訓練では児童参加型の取り組みとしているが職員のみでの訓練の導入を必要だと考える。療育時間や療育時間外、送迎時の対応など細かな対応を想定して訓練を行う工夫が必要である。
3	保護者様への説明事項	長期的に利用されている利用者様も多数いる中で以前の説明している内容等についても適宜確認ができるようにする必要がある。	上記1. 2を踏まえ細かな保護者様への説明を丁寧に行いながら口頭のみならず形で残しつつ、保護者様も緊急時や日常的に意識してもらえよう広報物、SNSを活用する必要性がある。